

国立成育医療研究センター

子宮内容除去術（1泊2日）を受けられる 患者さん

（入院診療計画書）

患者ID：性別：生年月日：病棟：病室：

患者氏名：病名：症状：

経過	入院日（ / / ）				退院日（ / / ）
	入院	手術	帰室後	帰室後2時間以降	退院
患者目標	入院し手術の準備が出来る。	安全に手術を行うことが出来る。	帰室後安静を保つことが出来る。	痛みがあれば薬を使って和らげることが出来る。	退院後の注意点について理解出来る。
治療・処置	・検温をします。 ・子宮の入り口を拡張する処置を行います。 ・必要があれば痛み止めの投与をします。	・手術室で点滴をとります。		・飲水確認後、抗生物質と子宮収縮剤を内服します。以降毎食後内服し、飲み切ってください。 ・安定して水分がとれたら点滴を抜きます。	・退院診察を行います。 ・3D外来で、医師から次回外来などについて説明があります。
活動	・拡張処置後は病棟内に限り制限はありません。	・ベッドで手術室に向かいます。	・ベッド上で安静にします。	・看護師付き添いでトイレまで歩行します。 ・病棟内に限り制限はありません。	・制限はありません。
食事	・入院日0時以降は食事を控えて下さい。 ・入院日（ ）時以降は飲水を控えて下さい。	・手術3時間前以降は飲水出来ません。		・帰室後2時間が経過したら飲水できます。初回は看護師が見守ります。 ・飲水出来たら夕食摂取可能です。	・朝食は通常食です。
清潔				・シャワー浴は控えて下さい。	・入浴は控え、シャワーのみにして下さい。
説明・指導	☐ 手術、麻酔の同意書をお預かりします。			☐ 手術後の飲水・食事・トイレ・内服について看護師から説明があります。	☐ 医師から退院許可が出たら、説明に沿って退院の手続きを行って下さい。 ☐ 退院後の注意点 退院した日は自宅で安静に過ごして下さい。翌日から普段通り過ごしていただいて構いません。
入院時医師判断	☐ 特別な栄養管理の必要性 ☐ 褥瘡対策に関する計画の必要性				

主担当医氏名：印 主担当医以外の担当者：

年 月 日

上記の説明を受けました。

患者・家族サイン：（続柄）

メモ：

2016/12/6 作成
2022/12/15 改訂
2023/7/20 改訂